

まほろば秦野通信

平成30年9月21日

タイトル	秦野盆地の水理構造調査ボーリングを実施
When (いつ)	9月開始～12月完了予定
Where (どこで)	さかえちょう公園敷地内（栄町9-14）
What (なにを)	<p>市では平成29年度及び30年度に水資源管理の基礎となる「はだの水循環モデル」の精度を高めるため、地質調査ボーリングを実施しています。</p> <p>昨年度は、カルチャーパーク敷地内に長尺のオールコアボーリング調査を実施しましたが、本年度は、さかえちょう公園敷地内で同様に、長尺のオールコアボーリング調査を実施しています。</p>
How (どのように)	<p>長尺のボーリング調査を実施することにより、詳細に秦野盆地内の地下構造を把握することができます。</p> <p>盆地深部の地質に関する情報は極めて重要なデータとなり、現在、地下水賦存量は芦ノ湖の約1.5倍にあたる2.8億トンとされていますが、この数字が変わる可能性もあり、今後、災害等や天候等による渇水時を含め、本市の水に関する利活用を検討する際、極めて重要なデータとなります。</p>
今後の取り組み	調査の結果等については、「はだの水循環モデル」の精度を高め、市の水に関する利活用を検討する根拠として活用します。
関連事業	平成30年度秦野市地下水モニタリング事業・微動アレイ探査
問い合わせ	環境保全課 地下水・環境指導担当 担当：武尾 電話0463（82）9618